

会 議 の 名 称	第2回あま市放課後子ども教室のあり方研究会
開 催 日 時	令和2年9月25日（金）午後3時から4時15分まで
開 催 場 所	美和文化会館内 シルバーカレッジ教室
内 容	1 あいさつ 2 協議事項 （1）令和2年度放課後子ども教室について （2）令和3年度放課後子ども教室について 3 その他
資 料	次第 令和2年度放課後子ども教室について（資料1） 放課後子ども教室の新型コロナウイルス感染症への対応について （資料2） 令和3年度放課後子ども教室について（資料3）
公開・非公開の別	公開
傍 聴 人 の 人 数	0人
出 席 委 員	木全（克）委員、村瀬委員、井村委員、溝口委員、林委員、 石塚委員、川原委員、村上委員、宮崎委員、大西委員、 立松委員、鎌倉委員
欠 席 委 員	木全（孝）委員
事 務 局	樋口子育て支援課長、林主幹、井上課長補佐、川村主査、山田主任

井村委員長	開会 あいさつ
子育て支援課長	あいさつ
事務局	資料確認
井村委員長	協議事項 (1) 令和2年度放課後子ども教室について
事務局	令和2年度放課後子ども教室、新型コロナウイルス感染症への対応について説明。
井村委員長	ありがとうございました。説明が終わりましたので、質疑に入ります。
林委員	宝小学校の参加者数は少し寂しい感じがしますね。
井村委員長	そうですね。
林委員	コロナの関係があり難しいかもしれませんが、10月から始めて、またチラシ等で集合していただければいいかなと思います。
井村委員長	そうですね。随時でも、もし参加の申込があればできますか。
事務局	途中からでも参加申込可能です。
井村委員長	どうしてもコロナのことで、ちょっと家から出したくないというお母さんもみえますのでね。
事務局	今年度実施するプログラムは極力昨年度のように外部の講師の方をお願いしておりません。例えば、その中でどのような事をやればコロナ対策になるのかを木全(克)副委員長とお話をさせていただいて、各学区のスタッフとプログラムの協議をしております。前回、木全(克)副委員長から提案

	<p>がありました「ことばあそび」を取り入れながら、また必ずマスクは体を動かす際も着用して行いますので、最新の注意を払って実施していきます。</p>
井村委員長	<p>甚目寺小の25人と宝小の2人とはかなり差がありますよね。やる事も。</p>
事務局	<p>人数によってやる事も変わってくる可能性はあります。</p>
溝口委員	<p>今、事務局の報告を聞いて心配していたスタッフがどうかなど思っていたが、今年度に限っては多かったということで安心しました。 チラシ等を配布されて効果がでたんですか。</p>
事務局	<p>今年度については、そう思っています。</p>
溝口委員	<p>ありがとうございました。</p>
井村委員長	<p>他に、質問はありますか。</p>
宮崎委員	<p>コロナの影響で講師の人をなるべく入れないというのは分かるんですけど、そもそもこの放課後子ども教室っていうものを何で欲しかったか、その論点に戻りたいと思うんですね。せっかくこの10月から開催するのにも関わらず、ただそこで面倒をみるだけの期間を半年間過ごすっていうのはもったいない事だなと思うので、なるべく楽しく皆で盛り上げて、その次の年に繋げていきたいなというのが希望です。</p>
事務局	<p>昨年度はあまスポーツクラブの方たちにお世話になり、子どもたちは非常に喜んで、その様子を委員の皆さんに実際体育館で見ただけています。昨年度と同様の回数はコロナ禍ということもあり難しいと思っておりますが、今年度していただくことはできます。宮崎委員から講師として協力していただける方がみえるというお言葉もいただいております。すべての小学校に来ていただけるというわけではないかもしれませんが、この8回の中で極力関わっていただけたらあり</p>

	<p>がたいかなというようには思っております。</p>
井村委員長	<p>そうですね。他にはありますか。</p>
立松委員	<p>実際、その活動は具体的にはスタッフが子どもたちに何かゲーム等そういったプログラムを提供するということですよ。</p>
事務局	<p>そうです。</p>
立松委員	<p>そのスタッフさんたちは木全（克）副委員長等にレクチャーを受けてゲーム等ができるという状況なんですね。</p>
事務局	<p>はい。</p>
立松委員	<p>分かりました。</p>
井村委員長	<p>はい、他に質問を。何でもいいですよ。何かお聞きしたい事があれば。はい、大西委員。</p>
大西委員	<p>先だって甚目寺南小と甚目寺小の放課後子ども教室の保護者に説明を行って、親御さんがどう思っているのかなと思ってね。ずいぶん人数が減っているの。</p>
事務局	<p>甚目寺地区は例年登録が60人前後、各小学校であります。今年度の当初の申込も60人前後あったという中で、コロナの影響で休止の通知をさせていただいて、その後10月から年8回体育館で開始します。という内容をまずは登録されている保護者の方へ通知させていただきました。変更点がありますが、それでも登録していただけますかと説明会を開いたという現状であります。まず通知が届いた段階でお断り、登録されない方については連絡をお願いしますという中で、ほぼ半分以上の方から子育て支援課の方に連絡がありました。その連絡の中で、どうして毎日やらないんですか、同じようにやっていたかかないとこちらは困ります。というような問い合わせがあるかなと思っていました。どうしても児童クラブのような預けの場のイメージが甚目寺地区にはあ</p>

	<p>たかもしれないので、そのように思ったのですが、そういった問い合わせはございませんでした。今回登録された保護者の方から体育館でどのような内容をやるんですかという問い合わせはありました。コロナの状況によりすることが変わってくるため、実際のプログラムはまだ確定していない状態ではあります。しかし体育館の中で今まで実施していた工作はブルーシートを敷いて実施できます。2時間ずっと工作は飽きてしまいますので、休憩を挟んで少し体を動かし、静と動と木全（克）副委員長さんが言われますけど集中力が持たないというところがありますので、そういった事も考えていきながら実施していきたいと思っております。ただプログラムといってもスタッフの方たちでやっていきますので、専門的なものは出来ないんですが子どもたちが少しでも楽しめるようなかたちで実施していけたらなというような説明をさせていただいております。分かりましたという事で、登録を宜しく願いしますと話があります。しかし先程も言いましたように実際何人参加していくか、初めての試みのため甚目寺は本当に不透明です。登録人数が出席数になるのかどうかというのが分からないという状況です。</p>
井村委員長	はい、村上委員。
村上委員	<p>すいません。甚目寺地区は今まで甚目寺小と南小はやってたわけですね。それで急に説明会、あま市となって色々な事を美和とか七宝と同じようなレベル、レベルと言ったらおかしいですけど、やるっていう事にちょっと疑問を抱いてるんじゃないかなと私は今お聞きして思うんですよね。やっぱり体育館でやるっていう事は、それぞれの活動場所が空き教室か何かでやってたと思うんですよ。そういうところから広い体育館で動と静があると言われますけども、その事をお母さんたちはやっぱり先輩のお母さんたちから色々お聞きになって、ちょっと考えてみえるんじゃないかなと思いますね。これで慣れてけば平行線でやれるのかなっていうふうには思います。今、お話し聞いててね。そんな感じがいたしますけどね。まだ、一番最初だからということもあるんですよね。</p>

大西委員	<p>あの今の村上委員が言われたように本当にこの子ども教室っていうものに対してお母さん方、ただ預ければ良いというような感じで子どもを行かせようというような、この半分になったという事はそんなような感じがするんですね。まずはもう一度、3年度やるんですけども、子ども教室はこういうものですよというような、分かるような意味合いのものをもう一度出したらどうかなと思います。ただ遊ばせる為に子ども教室をやっているのかなというような感じで思われているかも分かりませんので、何かそういう冊子のような物を出して考えてはどうかと思ってるんですけども。もう少し具体的な事を書いて配ったらどうかなと思ってます。</p>
井村委員長	<p>溝口委員、どうぞ。</p>
溝口委員	<p>コロナの対応について、ちょっと教えていただきたいんですが。昨日までの段階で、あま市で64人の感染者が出ている。今後の対応ですけれども、第2波、第3波の話も出ておりますし、その対応について特に学校ですね、あま市全体で指示を出して対応しているのか、又は学校は単独で任せとるのか、その辺の対応はどうなってるのか、もしよければお聞かせいただきたいなと思います。</p>
事務局	<p>子ども教室のみの話でよろしいですか。今回実施していく中で、学校でコロナの感染があったという事になれば当然実施はしていかないという事になります。子ども教室は学校が行うのではなく子育て支援課が実施していますが、コロナ対策は教育部と連携していきながら同じようなかたちをとって、児童クラブもそうですが、実施していきますので、特別に子ども教室だけコロナがあっても実施するだとかそういった事はないです。</p>
井村委員長	<p>あとはよかったですか。</p>
大西委員	<p>宝は2人、秋竹は4人、伊福は5人なんですね。もう一度原点に戻って、子ども教室はこういうものですよというものを作っていただいて、また募集をかけてもらいたい。</p>

井村委員長	<p>まず1年でも実績、こういう事をやってきたという報告ができるとお母さんたちにも、こういう事をやっていますというPRができると思うんですね。だから、とにかくまず進むというか1つ1つ色んな事を子どもにやらせて、どんどん子どもたちの評価をあげるのが、お母さんたちに浸透するのが一番早いかなと思います。</p> <p>それでは、次の議題に入りたいと思います。</p> <p>協議事項</p> <p>(2) 令和3年度放課後子ども教室について</p>
事務局	<p>令和3年の放課後子ども教室について説明。その中で甚目寺地区の形態及び開始時期についてご意見をいただきたい旨を説明。</p>
井村委員長	<p>令和3年度についてですけど、甚目寺小と甚目寺南小は今年から始まっているから5月からどうですかね。春の受付は駄目ですか。</p>
事務局	<p>それは可能です。どういう形態になるにしても4、5月から開始するというのは可能です。</p>
大西委員	<p>甚目寺南と甚目寺は、令和2年度の予定に入っているんで、この通りにやるという事でしょう。</p>
事務局	<p>通常であれば甚目寺と甚目寺南小は4月から実施しています。給食のある日に実施しているため、七宝と美和とは始まる時期が異なっておりました。今年度はこういった形態で8回やっていますが、かたちを戻した方がいいのではないかなった場合は、こちらの表は4月からになります。</p>
井村委員長	<p>甚目寺だけですか。</p>
事務局	<p>今年度と同じ形態になるという事であれば5月からになります。</p>
大西委員	<p>それを話はしてあるんでしょ。令和2年度、こういうふうになりますって。</p>

事務局	令和2年度はしてあります。ただ来年度の話ですので。
井村委員長	どうぞ、宮崎委員。
宮崎委員	<p>そもそもの論点で、あま市独自のっていうものを作った時点でスタートラインを揃えるっていう話だったと思うんですね、当初。なので甚目寺、甚目寺南の以前の内容自体が放課後子ども教室の原理とずれてるんですよ。</p>
井村委員長	そうです。同じじゃないということですね。
宮崎委員	<p>そもそもしてしまっていたというところがあるので、これを機に足並みを揃えるっていうのに私は賛成です。来年度から甚目寺東と西はなかったの、足並みを揃えるという意味であれば、あま市全体で繰り広げるのが筋かなとは思いません。</p>
井村委員長	<p>そうすると、今まで10月スタートのは春に募集をかけたよ。ということは、甚目寺東小と西小を来年度のこのスタートに合わせるのなら、もう今これから、その5月に向けて説明とか。今までは春に募集して10月スタートっていうのをやってきたのに西小と東小だけ、いきなり5月から。ここでいきなり甚目寺の4校が来年5月からスタートするとなると、東小と西小はもう1年ずれてもいいのではないかなと、あんまり無理に慌てることないかなっていうふうに思いました。</p> <p>川原委員、どうぞ。</p>
川原委員	<p>宮崎委員がおっしゃったように、これを機に統一していくというのは私も賛成です。元々甚目寺に関しては、利用者の目的が児童クラブ的なものなんじゃないか。それを一緒にしていくとそこで困る人がいるんじゃないかというような課題があったと思うんですけど、今回このコロナをきっかけにして、こういうかたちでやってみたところ、すんなりと受け入れられたという事であれば、このかたちで統一していく。改めてこの目的を理解して下さる方々に参加していただく</p>



	<p>という事で、すごく良いんじゃないかと思います。井村委員長がおっしゃたように、これから初めて始まる東と西に関しては慎重に。ただ、今までもある程度の実績があったところに関しては、これを機に統一していくという。すごくスムーズに、移行していけるんじゃないかと思いますね。</p>
井村委員長	<p>はい、村上委員。</p>
村上委員	<p>今、甚目寺の話ですけど西小と東小の方に行政から話っているのは持ってってみえますかね。</p>
事務局	<p>子ども教室を実施する場合よろしいでしょうかという協議をさせていただいて大丈夫ですよというお話はいただいております。</p>
村上委員	<p>そうですか。学校側の反応はどうですかね。</p>
事務局	<p>甚目寺西小と東小だけは実施しておりませんので実施していかなければいけないですよねと話をいただいております。</p>
村上委員	<p>前向きに考えて下さってるわけですね。また何かの時にそういう話を私の方からでも子育て支援の方からでも色々とアピールしながら進んでいくといいと思いますので、ご協力させていただきます。</p>
事務局	<p>お願いします。</p>
井村委員長	<p>なかなか保護者の方々も一齐に、今年なんか特に集まれないですよ。お母さんたちも規制があって、発表会も皆さん入替で区切られていた。本当に色んな事の繋がりっていうのがすごく今年は難しいなというふうに思いました。やっと学習発表会も終わったみたいなんですけど、入替でお母さんたちも自分の子しか見られなくてスッと帰られましたっていうふうに聞きましたけど、色んな情報を流すにしても本当に困難なんですけど何か考えていいふうにね、連絡しあいながら進めていっていただきたいと思います。</p>

大西委員	<p>大西委員、どうぞ。</p> <p>学校運営協議会というものがあまして、PTAが集まり、学校の校長以下教頭も集まり会議を開くんですね。その会議の時にこういう事をやってるんで、もう少し何とかPTAにお話できんのだろうかというような格好を取ったらどうかかなと思ってます。今、集まる機会が少ないもんですから、そういう事を利用してやったらどうかかなと私は思います。</p>
井村委員長	<p>他に何かご意見ございませんか。はい、林委員。</p>
林委員	<p>結局、3年度の放課後子ども教室につきましては、甚目寺と甚目寺南については、美和と七宝と同じように5月からやっていたかと思う。同じように既に始まっていますので5月から同じように13回。新しい甚目寺東と西については七宝地区で新設した時と同じように10月から、準備段階を設けて進め、令和4年度からあま市の1つのモデルとして進めていくとどうかなと思います。</p>
井村委員長	<p>ありがとうございました。色んな意見がでました。事務局どうですか。</p>
事務局	<p>今のご意見いただいた中で甚目寺小と甚目寺南小につきましては今年度形態が変わりましたが、七宝、美和と同じように5月から実施できるよう計画してまいります。甚目寺東小と西小につきましては七宝の新設時と同じように林委員からご意見ございましたように10月から実施できるよう調整をさせていただいて、また研究会の場でご報告させていただこうと思いますので宜しくお願いします。</p>
井村委員長	<p>あと皆さんどうです。よろしかったですか。 はい、立松委員。</p>
立松委員	<p>今、コロナ禍で私たち大西委員も村上委員も学校運営協議会の方に出席させていただいて各学校の状況っていうのを伺っていますと、やはり先生たちもすごく大変なんでしょうけど子どもたちもすごく不自由な学校生活を強いられてい</p>

	<p>るなっているのを非常に感じます。色んな行事もなくなって非日常が毎日続いていて、だいぶ慣れたとはいえ、きっと色んな場面でも子どもたちは大人以上にストレスなのかなっているふうに思っている中で、この子ども教室で子どもたちがストレスなく過ごせるようなプログラムっていうのもあれなんですけど、活動の中で少し発散できたりとかね、難しいとは思いますが、少し人数も少ないのでのびのびできるといいなっているふうにはちょっと思ったりします。コロナ禍っていうことは非常に大きな要素だっているのは感じますので、第3波、第4波で中止になって、来年度5月からやろうと思っても、できない状況があるのかもしれない中で、それでもこういうふうに関催していただけてるので、いかにその中で子どもたち主体で私たちが考えて何かできる事があれば、我々本当に学校の方にお話に行ったりとか、こういう状況なんですっていうことをお伝えする事はできますので、何かそういうアイデアとかお伝えできるような事があればしていきたいなというふうに思っています。</p>
井村委員長	<p>ありがとうございました。子どもたちが色んな事を放課後子ども教室でやれるっていう、そういうような教室にしたいなと思います。</p> <p>木全（克）副委員長、どうぞ。</p>
木全（克）副委員長	<p>あま市で一本化するという方向へはやっぱり無理なところはあると思うんですけど、そういう方向にしていきたいなと思うんですね。スタッフの区分ですが、コーディネーター、サブコーディネーター、安全管理員ですが、管理員ではなく支援員、サポーターという言葉がいいかなと思います。それから各地区にマニュアルがありますか。内容はやっぱり違うんですか。</p>
事務局	<p>基本は同じですが、例えばスタッフの配置状況で美和地区はコーディネーターが木全（克）副委員長お一人等、異なりますのでマニュアルもその地区ごとで作成しております。</p>
木全（克）副委員長	<p>8月24日に2時間「コロナ禍から学ぶ子ども支援のスキル 10月、再開に向けて」という研修をやりました。特に</p>

	<p>体育館でこういう事を注意するというのでやりました。スタッフは体育の授業なんかやってないので、動きが分からない。また3年生以上はデータを見てみると今までより運動量が減っている。日常の活動量も減ってるので今までできてたことができなくなった人がいるので、精神的なストレスもそうですけど、そういう動きの中で捻挫を含めた怪我也多いんで保健室に行列ができてるといふ事もあります。やっぱりね、大きく変わってるっていうところは我々素人ですけども、そういうのは心に入れて接していかないと駄目じゃないかなということをおもいます。先程、大西委員から何度かできましたけども放課後子ども教室の成果とか効果みたいなのをペラ1枚じゃなくてOBの声を入れたりして資料、実績として作る。大変だけどやっぱり子どもと学校と地域を繋ぐのが放課後子ども教室だということだから、これで終わりですね、話題にも上らないのではなくて、お父さん、お母さんに聞いてみてなんて投げかけもやって広げてけるといいかなと思ってるんですけど。新しく4月、10月からというので、やっぱりある程度しっかり状況をつかんでやらないとどういふ事が起きるかも分からないという事はお願いしていきたいとおもいます。本当に皆さん大変だと思いますけど支援の方お願いしたいとおもいます。</p>
井村委員長	<p>いつもスタッフとして頑張っていたいて、本当にありがたいと思っております。</p>
大西委員	<p>私も木全(克)副委員長と同じようにスポーツの方してますので、話をしていただければ、こういうのもあるよ、こんなふうにやってくれ等お話してもらえれば。</p>
井村委員長	<p>ぜひ、そういう資料を出していただきたいとおもいます。そういう事があればどんどん出していただいて、学校へ繋ぐお手伝いはできますので、実践がなかなかお手伝いできないのでPRはお手伝いできると思ひます。</p>
木全(克)副委員長	<p>あま市の体育協会、スポーツ指導員、スポーツクラブ、文化協会からいっぱい地域資源利用してやってきたんですけど、状況がこういう状況なので一回ストップして内輪だけで</p>

井村委員長	<p>という事ですので、しかし地域の資源というのは大きく活用していきたいし、力をもらいたいもんですからね。それを来年4月からまた組み入れてということは忘れないでおりますのでお願いします。</p> <p>色々と意見がでました。はい、宮崎委員。</p>
宮崎委員	<p>繋げていくにしてもスタッフさんたちに理解をしてもらうにしても、まず理念を定着させないと今の状態だと放課後子ども教室と学童の違いすら分からない親御さんや皆さんが多いと思うので、まずここが原点なんだよという事をその目的とした放課後子ども教室だよっていうことを皆さん知っていただくようなチラシなりを作った方がいいんじゃないかなっていうふうに思います。</p>
井村委員長	<p>どうしても名前がまぎらわしいですよ。放課後児童クラブとかって名前がね。だから私たちが口に出して伝えていかないとやっぱり伝わらない。どんどん喋りながら事あるごとに何かあったら言葉で伝えましょうって私は思います。</p>
村上委員	<p>先程も話にでましたが、私たち小学校、中学校へ学校運営協議会で行ってます。それも中止になっているのが多いんですけれども、そういう機会が開かれる時に一度細かく説明していただけるとPTAの方たちも結構理解されて色々他の父兄の方たちにお話していただけるんじゃないかなと思います。開かれた時には声をかけさせていただくなりいたしますので宜しく願いいたします。</p>
井村委員長	<p>はい、立松委員どうぞ。</p>
立松委員	<p>先程、宮崎委員が放課後子ども教室はこういうもので児童クラブとは違う。また木全（克）副委員長がおっしゃったように子どもと学校と地域を繋ぐっていうふうなところを繰り返し発信するのに例えばオンラインやネットとか何か子どもたちが楽しそうに活動、今は参加も少ないんですけど、色んな方々が関わって、本当にいい経験をしてきた子どもたちがたくさんいるので、もっとそういう記録をオンラインと</p>

	<p>かを使って発信してみてもらうとか、そうすると参加者も増えるでしょうし、逆に協力しようっていう理解者も増えるのかなって思います。あま市の公式LINEがあるみたいですけど、そこに流すと今時のお母さんたちはスマホで何もかも割と情報収集するような方が多いのかなって思いますので。</p>
井村委員長	<p>そういう募集なんかはよろしいですね。</p>
事務局	<p>LINEの方は実施しています。</p>
大西委員	<p>七宝地区はですね、七宝独自の学校運営協議会のカレンダーを出してこういう事をやっていくよ、明日から試験ですよとか6校とも分かるようなカレンダーを作って親に渡してます。見てもらおうと分かると思うんですけど、地区のお祭りや市の行事も含まれているカレンダーです。だからそういうところへも子ども教室ありますよというように入れたらどうかかなと思ったんです。</p>
井村委員長	<p>あと、よろしかったですか。それでは質疑を終了します。その他に入りたいと思います。事務局何かありますか。</p>
事務局	<p>ございません。</p>
井村委員長	<p>それでは、以上で本日の『あま市放課後子ども教室のあり方研究会』を閉会いたします。お疲れ様でした。</p>